

## 平成28年度 医療講演会報告

9月25日（日）午後1時30分より上大岡のウィリング横浜において、のぞみ会神奈川支部の医療講演会が開催されました。

前日までの、悪天候で役員一同参加人数を危惧しておりましたが、予想を上回る103名の参加人数でした。

今回の講演会のタイトルは「骨粗鬆症と人工股関節周辺骨折の予防と治療」という今の日本の高齢化社会の中で、骨粗鬆症に対しては無関心ではられない問題を、解説していただきました。

講師の先生は、北里大学医学部整形外科学准教授の内山勝文先生です。

先生の分かりやすい説明と的確な映像とで、私たちの診察時のレントゲンの見方や、先生方がレントゲンから何を確認して診察に生かしていることなどを知ることができました。

高齢化社会の中で、骨粗鬆症患者は間違いなく増えていくであろう中で、薬の開発や、正しい検査方法などのお話もしていただきました。

人工股関節周辺骨折のお話も、映像を見ながら具体的にお話してくださいました。

北里大学で行っている、骨バンクの説明は私たちの知らないことで、興味深いお話でした。

質疑応答でも、薬名を挙げての質問にも丁寧にお答えいただきました。

一年に一度は、正しい検査方法で骨密度の測定をすることが、骨粗鬆症の予防になり早期の治療につながるのだと理解しました。

講演会を撮ったDVDは、会員の方に貸し出しをしております。

運営委員に、お問い合わせ下さい。

